

明石市立市民病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、2024年 8月 31日までに下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	化学療法を受ける造血器腫瘍患者における転倒転落の実態 (*造血器腫瘍とは、血液、骨髄、リンパ節が障害を受ける腫瘍の総称です。)
当院の研究責任者	加藤 見代子 (4階東看護課課長)
本研究の目的	造血器腫瘍に対して化学療法を行うと多くの薬剤では副作用として骨髄抑制がおこります。症状は「体の抵抗力が弱くなる(感染症状)」「ふらつきやめまいなど(貧血症状)」「血が止まりにくい(出血傾向)」というようなものです。自宅では日常生活動作に問題がなかった患者さんが、これらの症状が出現し、日常生活の動作中の転倒やベッドからの転落を起こしてしまう事があります。この転倒や転落によって起こった外傷が、時には重篤で命に関わる事に発展してしまうこともあります。 そこで、今後の予防対策の示唆を得るために4階東病棟で化学療法を受けた患者さんの転倒転落の実態を明らかにすることを目的に本研究を行います。
調査データ該当期間	2019年9月1日～2024年8月31日
研究方法／利用(提供)する試料・情報の項目	【対象者】 4階東病棟において化学療法を受けた造血器腫瘍患者のうち転倒転落のあった患者 【研究期間】 2024年9月1日～2025年3月31日 【方法】 診療録(カルテ)、転倒転落の発生報告書より以下の情報を収集します。収集した情報より、転倒転落に影響する要因

	<p>について検討します。</p> <p>【研究に用いる試料・情報について】</p> <p>1) 患者情報：年齢・疾患名・使用薬剤</p> <p>2) 臨床所見：採血データ、便秘の有無、末梢神経障害の有無</p> <p>3) 転倒転落発生時の情報：化学療法後の経過日数、発生時刻、行動のきっかけなど</p> <p>【資料・情報の管理について】</p> <p>患者情報はすべて匿名化し、個人が特定されることはありません。また、研究結果を公表する場合においても個人が特定されることはありません。研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧する事は可能です。ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください</p>
<p>情報等を取り扱う者の範囲</p> <p>(当院の研究者名、研究場所／多機関共同研究の場合は他機関も)</p>	4 階東看護課 平塚 大樹
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名</p>	4 階東看護課課長 加藤 見代子
拒否できることの旨	<p>上記の試料や情報を本研究に使用することに患者さん（もしくは代理人）がご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024 年 8 月 31 日までに下記までご連絡ください。その際には試料・情報の利用を停止します。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。なお、上記期間までに申し出がなかった場合には、患者情報の利用を承諾していただいたものとさせていただきます。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：078-912-2323（代表）</p> <p>担当者：4 階東看護課 平塚 大樹</p>
備考	